

～未来につなげる、うつくしま～



# 福島県 平成24年度 当初予算

1

## 1 表紙

- 平成24年度当初予算の知事査定を終了いたしましたので、その概要を  
発表いたします。

～未来につなげる、うつくしま～



## 平成24年度当初予算

予算規模

1兆5,764億円

うち 震災・原子力災害対応分  
7,255億円

2

## 2 予算規模

- 一般会計当初予算の総額は、1兆5,764億円であり、前年度と比較し6,763億円、率にして75.1%の増となったところであります。
- 総額のうち、震災・原子力災害対応分として7,255億円、通常分として8,509億円を計上いたしました。



## 平成24年度当初予算

【歳入】 1兆5,764億円		【歳出】 1兆5,764億円	
I 県 税	1,603億円 (臨財債、震災復興特別交付税を含む)	I 義務的経費	4,426億円
II 地方交付税	3,219億円	II 投資的経費	2,913億円
III 国庫支出金	3,107億円	III 一般行政経費	8,425億円
IV 繰入金	4,357億円 (臨財債除く)	※ 扶助費(再掲)1,363億円	
V 県 債	763億円	医療・介護給付費のほか 災害救助費 など	
VI その他	2,715億円		

- 震災復興特別交付税 428億円
- 「原子力災害等復興基金」等各種基金の活用

### 3 歳入、歳出

- まず、歳入についてであります。国の地方財政対策において地方交付税の総額は確保されたところであります。  
また、東日本大震災分として、復旧・復興事業の地方負担分を措置するための震災復興特別交付税が別枠で確保され、本県分として428億円を計上したところであります。これらを合わせ、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は3,219億円となっております。
- 県税収入につきましては、震災の影響により、厳しい状況が続くものとみられ、153億円の減となることから、一般財源総額の確保は厳しい状況でありました。このため、12月補正予算において創設した「原子力災害等復興基金」をはじめ各種基金を有効に活用し、必要な財源の確保に努めたところであります。
- 一方、歳出については、震災・原子力災害への対応や復旧・復興に係る投資的経費の増、さらには、社会保障関係経費などが増額となる見込みであることから、内部管理経費の節減を図り、引き続き、事務事業の効率的な執行に努め、予算編成に臨んだところであります。



## 平成24年度当初予算

### 福島県復興計画（第1次）

#### 基本理念

- 原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり
- ふくしまを愛し、心を寄せるすべての人々の力を結集した復興
- 誇りあるふるさと再生の実現

#### 復興へ向けた重点プロジェクト

安心して住み、  
暮らす。

ふるさとで働く。

まちをつくり、  
人とつながる。

復興計画の実現に向け、  
再生・復興に係る取組みを最優先に予算編成

4

#### 4 福島県復興計画

- さて、昨年12月に「福島県復興計画」を策定いたしました。  
平成24年度予算は、「復興元年」として大震災からの復興と原子力災害からの再生を加速させる大事な予算となります。
- 原子力災害は未だに収束せず、避難生活が続く県民の皆さんは、大変なご苦勞をされております。復興計画に基づき、一つ一つの課題に取り組み、すべての県民が安心して暮らせる元気で明るい福島県を取り戻してまいります。  
子どもたちの笑顔と安心して暮らせる環境を一日も早く取り戻さなければなりません。
- 予算編成にあたりましては、復興計画に掲げた基本理念を具現化するため、  
「安心して住み、暮らす。」  
「ふるさとで働く。」  
「まちをつくり、人とつながる。」  
の3つの柱に沿って必要な事業に最優先かつ重点的に予算を配分したところ です。
- それでは、その内容について、ご説明いたします。



## 平成24年度当初予算

### 環境回復プロジェクト

#### 除染の推進

- モニタリングの充実・強化
- 生活圏、農地、森林などの除染、仮置場等の確保
- 町内会の除染活動の支援
- 除染に関する人材育成



家屋の除染



通学路の除染



学校の除染

#### 除染の推進



#### 食品の安全確保

- 農産物などのモニタリング体制の強化
- 結果の速やかな公表
- 身近に食品を検査できる体制整備等



学校の除染

#### 廃棄物への対応

- 農業系廃棄物処理に対する支援
- 下水汚泥等の適切な処理の支援

### 故郷への帰還と安心した生活環境の確保

5

## 5 安心して住み、暮らす。

### (1) 環境回復プロジェクト

- 最初に「安心して住み、暮らす。」ための各プロジェクトについてであります。
- まず、「環境回復プロジェクト」であります。復旧・復興にあたって、最優先に実施しなければならないのが「除染」であります。ふるさとへの帰還と安心して生活できる環境の確保を図るため、県が先頭に立って、生活圏、農地、森林などの徹底した除染を行います。
- また、市町村と一体となって、本格的な面的除染と仮置場の設置を進め、併せて、県道など県管理施設の除染についても、しっかりと進めてまいります。
- 加えて、町内会が、除染活動を行う場合の支援については、高所作業車の借上げ経費についても補助対象とするなど、制度の拡充を図ったところがあります。
- さらには、業務監督者や業務従事者の育成にも取り組むなど、人材の育成と除染技術の向上を図ってまいります。
- 食品の安全確保につきましては、農林水産物等の安全性の確保に向け緊急時モニタリング調査を実施し、その結果を県民の皆さんに迅速かつ的確に公表します。
- 廃棄物への対応については、下水汚泥の適切な一時保管を行うほか、農業系廃棄物の処理に対する支援についても市町村とともに対応してまいります。



## 平成24年度当初予算

### 生活再建支援プロジェクト



#### 生活再建へ

##### 1 安心できる生活の確保

- ・ 高齢者等のサポート拠点整備や見守り活動への支援



##### 2 住環境の再建支援

- ・ 住宅の二重ローンを抱える被災者に対する利子補給 
- ・ 自治体機能移転町村に代わる復興公営住宅の整備 

##### 3 雇用の維持・確保

- ・ 基金を活用した就業機会の拡大



#### 目指す姿

被災者が安心して暮らすことができる環境の整備と雇用の確保

6

## 6 安心して住み、暮らす。 (2) 生活再建支援プロジェクト

- 次に、「生活再建支援プロジェクト」についてであります。  
生活の再建には、被災者の方々が安心して暮らせる環境の整備と雇用の確保を図ることが重要であると考え、各種支援施策を実施いたします。
- 仮設住宅等に入居する高齢者等のためのサポート拠点整備や見守り活動への支援など、高齢者等の孤立化を防止し、日常的に支え合う体制づくりを行ってまいります。
- また、住宅の二重ローンを抱える被災者に対する利子補給を行うほか、被災者の方々に恒久的な住宅を早期に提供できるよう、原子力災害によって自治体機能を移転している町村に代わり復興公営住宅を整備するなど、住環境の再建を支援してまいります。
- さらに、基金を活用し、被災者の方々の就業機会の拡大を図るなど、安定した雇用と生活基盤の確保に努めてまいります。
- 庁内の組織体制の強化についてであります。警戒区域等の見直しに伴う避難地域の帰還及び復興支援を推進するため、企画調整部内に「避難地域復興局」を新設いたします。



## 平成24年度当初予算

### 県民の心身の健康を守るプロジェクト

#### 県民の健康の保持・増進

- ・ 県民健康管理調査
- ・ 新生児聴覚検査の支援
- ・ 母子の健康相談体制の充実・強化
- ・ 学校給食のモニタリング調査



#### 被災者等の心のケア

- ・ 被災者の心のケア
- ・ 子どもの心のケア



県民の健康意識の向上

#### 地域医療の再構築

- ・ 県立医科大学の入学定員増
- ・ 医療施設等の機能回復
- ・ ふくしま医療人材確保事業



#### 最先端医療体制の整備

- ・ 県民健康管理拠点  
基本構想の策定



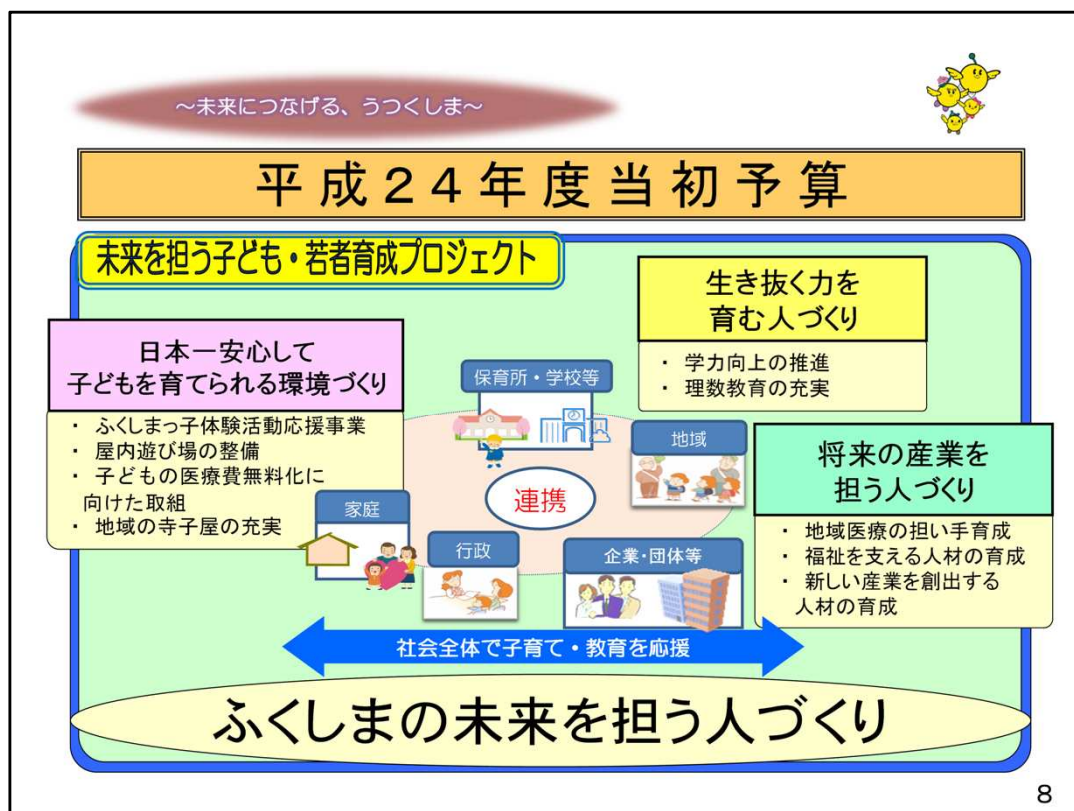
全国に誇れる健康長寿県

7

## 7 安心して住み、暮らす。

### (3) 県民の心身の健康を守るプロジェクト

- 次に、「県民の心身の健康を守るプロジェクト」についてであります。
- 子どもたち、そしてすべての県民の健康を守ることが私の大きな責務の一つと考えており、県民健康管理調査については、基本調査と併せて甲状腺検査や内部被ばく検査などを継続して実施いたします。  
新たに、新生児聴覚検査に要する費用を助成するほか、母子の健康相談体制を充実・強化してまいります。
- また、学校給食については、これまでの調理前の食材検査に加え、県内全市町村において、給食のモニタリング調査の充実・強化により、さらに一層の安心を確保してまいります。
- 地域医療の再構築については、県立医科大学の入学定員を110名から125名に大幅に拡大し、医師の確保と県内定着を図ってまいります。  
また、地域医療再生基金を活用しながら、震災によって被災した医療施設等の機能回復と医療人材の確保を図ってまいります。
- また、被災者や子どもの心のケアについては、専門家の派遣や相談・支援体制の強化などにより、きめ細かく対応してまいります。



## 8 安心して住み、暮らす。

### (4) 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト

- 次に、「未来を担う子ども・若者育成プロジェクト」についてであります。
- 日本一安心して子どもを育てられる環境づくりを目指し、各種事業を展開してまいります。
- 子どもたちが、のびのびと活動できるよう、今年度に引き続き「ふくしまっ子体験活動応援事業」を実施いたします。
- また、子どもたちが安心して遊べる施設を提供するため、屋内遊び場の確保を積極的に支援してまいります。
- さらに、子どもの医療費無料化に向けた準備経費として、市町村のシステム改修に係る経費を支援してまいります。
- 生き抜く力を育む人づくりを行うため、再生可能エネルギーの研究や医学の現場などで活躍できる人材の育成を目指し、「算数・数学ジュニアオリンピック」や「科学の甲子園」福島県大会などを通じて、理数教育の充実を図ります。
- また、将来の産業を担う人づくりを行うため、医学部進学を目指す高校生を対象に地域医療の担い手育成事業を行うほか、福祉を支える人材の育成を行ってまいります。
- さらに、復興の支援と新しい産業を創出する人材の育成を図るため、会津大学が整備する「会津大学復興支援センター（仮称）」の基本計画策定を支援いたします。





## 平成24年度当初予算

### 農林水産業再生プロジェクト



ふくしまの農林水産業の再生



風評被害の払拭

消費者の信頼回復

安全・安心を提供する取組を  
大幅に充実・強化

【詳細な放射性物質測定】

【生産履歴情報の提供】

【全国に向けた情報発信】

基盤整備・災害復旧

【農業】

農地・農業用施設

【森林林業】

林地・林道施設

【水産業】

海岸・漁港施設

## 9 ふるさとで働く。

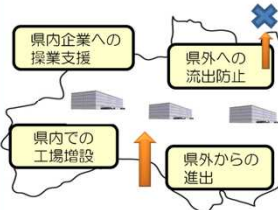
### (1) 農林水産業再生プロジェクト

- 次に、「ふるさとで働く。」ための各プロジェクトについてであります。はじめに「農林水産業再生プロジェクト」であります。
- 風評被害を払拭するためには、消費者の信頼回復を図ることが何よりも重要であると考え、安全・安心を提供する取組を大幅に充実・強化してまいります。
- 農林水産物の安全性確保を図るため、産地が行う詳細な放射性物質測定に向けた機器の整備や生産履歴情報を消費者等にわかりやすい形で提供し、本県農産物の安全性について首都圏を中心に情報発信していきます。
- また、震災や津波によって大きな被害を受けている農業、森林林業、水産業を再生することが急務となっております。  
被災農地については、隣接する農地と一体的に大区画のほ場整備を行うなど、農地・農業用施設はもとより、林地・林道施設や海岸・漁港施設についても災害復旧を速やかに実施してまいります。



## 平成24年度当初予算

### 中小企業等復興プロジェクト



#### 県内中小企業等の振興

- 被災中小企業等の事業継続・再開を支援

**本県経済の  
力強い発展**

#### 中小企業の資金繰り支援

- ふくしま復興特別資金等の制度資金  
(新規融資枠 1,480億円)

#### 企業誘致の促進

- 大型の企業立地補助創設  
(補助上限額200億円)
- 工業団地造成の借入に対する  
利子補給

10

## 10 ふるさとで働く。

### (2) 中小企業等復興プロジェクト

- 次に、「中小企業等復興プロジェクト」であります。
- 地域経済の担い手である中小企業等が活力に満ち、新たな雇用と収入の場を確保するため、中小企業を支援する取組を行ってまいります。
- はじめに、中小企業の資金繰りを支援するため、ふくしま復興特別資金など、制度資金については、合計で1,480億円の新規融資枠を準備いたしました。
- また、本県への企業立地を加速し、継続的な雇用を創出するため、国内最高の補助率で最大200億円の大型の企業立地補助を創設しました。  
併せて、市町村が工業団地を造成するための借入れ金に対しその利子を補給する制度も創設いたします。
- さらに、事業を継続・再開する被災中小企業、中小企業等グループによる建物、施設等の復旧・復興を支援する取組について、今年度に引き続き行い、本県経済の力強い発展を促進します。



## 平成24年度当初予算

### 再生可能エネルギープロジェクト

#### 再生可能エネルギーの導入拡大

地熱

風力

太陽光

水力

バイオ  
マス

#### 家庭

- 太陽光発電パネル設置経費助成

→各家庭への飛躍的な普及

#### 公共・民間施設(防災拠点)

- 太陽光発電パネル、蓄電池等設置経費助成

#### さまざまな分野

- バイオマスガス発電技術開発
- 浅部地中熱利用システム開発
- 農業ダムを利用した小水力発電調査
- 木質バイオマス供給施設整備支援

再生可能エネルギーの先駆けの地  
(全国の先端技術開発をリード)

11

### 1 1 ふるさとで働く。

#### (3) 再生可能エネルギー推進プロジェクト

- 次に、「再生可能エネルギー推進プロジェクト」であります。
- 本県が、再生可能エネルギーの先駆けの地として、その導入拡大と、関連産業の集積・育成を図り、全国の先端技術開発をリードしていきたいと考えております。
- 原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会の実現に向け、太陽光、地熱、風力、水力、バイオマスなど再生可能エネルギーの導入拡大を図ってまいります。
- 特に、24年度からは、家庭における太陽光エネルギー導入の飛躍的な拡大を図るため、発電パネルの設置に要する初期投資費用について直接助成する制度を創設いたします。  
また、災害時に防災拠点となる公共施設や民間施設に太陽光発電パネルと蓄電池等を設置する経費についても支援してまいります。
- さらに、バイオマスガス発電技術の開発、農業ダムを利用した小水力発電の可能性調査、木質バイオマス供給施設整備支援など、様々な角度から再生可能エネルギーの推進を図ります。
- 庁内の組織体制の強化についてであります。再生可能エネルギー関連産業の集積・育成を推進するため、「再生可能エネルギー産業推進監」を新設し、全庁的な事業推進を図るため、「再生可能エネルギー産業プロジェクト推進室」を設置します。



## 平成24年度当初予算

### 医療関連産業集積プロジェクト

#### 医療福祉機器産業の集積

- ・ 医療福祉機器等の開発ファンド



- ・ 国際的先端医療機器開発・実証
- ・ グローバルな市場への販路開拓



#### 創薬拠点の整備

ふくしま医療産業振興拠点（創薬）の整備

- ・ 医療関連製品の研究開発から製品化に至るプロセスを支援



雇用の創出

12

## 12 ふるさとで働く。

### (4) 医療関連産業集積プロジェクト

- 次に、「医療関連産業集積プロジェクト」であります。
- 将来、成長が見込まれる医療機器関連産業については、これまで蓄積された県内の優れた技術をベースに世界に類を見ない研究開発を行い、これをアピールすることによって、地域産業の活性化につなげたいと考えております。
- このため、先端の医療機器の開発・実証を行う研究機関や医療機器メーカーを積極的に支援してまいります。  
また、欧州、アメリカ、アジアなど、よりグローバルな市場への販路開拓、販路拡大を図ってまいります。
- さらには、県立医科大学に創薬分野の研究拠点を整備し、薬剤を中心とする広範な医療関連製品について、研究開発から製品化に至るプロセスを一体的に支援してまいります。



## 平成24年度当初予算

### ふくしま・きずなづくりプロジェクト

#### 福島県内における きずなづくり

- 生活支援相談員の配置  
・コミュニティ復興支援
- 県民の復興活動への支援  
・地域づくり総合支援事業  
(サポート事業)



#### 県外避難者や ふくしまを応援している人 とのきずなづくり

- 電子回覧板の活用
- スポーツ、伝統文化等  
による交流



#### ふくしまにおける 復興へ向けた取組や 情報の発信

- 「新生ふくしま」の  
イメージ発信
- 首都圏における  
交流イベントの開催



地域のきずな再生・発展

新たなきずな構築

13

### 13 まちをつくり、人とつながる。

#### (1) 福島・きずなづくりプロジェクト

- 最後に、「まちをつくり、人とつながる。」ための各プロジェクトについてであります。
- 県内外に避難している県民の方々の心がふくしまとつながり、必ずやふるさとに帰還することができるよう、きずなづくりを大切にしていかなければならないという思いを強くしております。
- まず、「ふくしま・きずなづくりプロジェクト」であります。
- 避難者を受け入れていただいている地域において、生活支援相談員を配置し、ボランティアの受入れ調整や交流の場の提供などコミュニティの復興を支援してまいります。
- また、地域づくり総合支援事業、いわゆるサポート事業においては、被災者自らが行う活動や被災者支援に関する取組について最優先に支援いたします。
- さらには、電子回覧板を活用して県外避難者の方々とのおきずなを維持するほか、「新生ふくしま」のイメージ発信、首都圏における交流イベントの開催などを通じ、ふくしまを応援いただいている方々とのきずなづくりについても取り組んでまいりたいと考えております。
- 庁内の支援体制については、県内外の避難者と地元市町村とのきずなの維持や被災者生活再建支援のため、生活環境部内に「避難者支援課」を新設します。



#### 14 まちをつくり、人とつながる。 (2) ふくしまの観光交流プロジェクト

- 次に「ふくしまの観光交流プロジェクト」についてであります。
- 農林水産業のみならず、本県の観光についても風評により、大きな被害を被っております。
- ふくしまの正確な情報を伝えていくため、国の「東北観光博覧会」の取組と連携しながら、観光復興キャンペーンを積極的に展開し、また、大河ドラマとタイアップした観光情報の発信、観光有料道路3ラインの無料開放の継続、コンベンションの積極的な誘致など、強力なプロモーションを集中的に実施していきます。
- さらに、福島に心を寄せていただけるアーティストの方々や学生、各種メディアなど、あらゆる情報発信手段を複合的に活用して「ふくしまの今」を戦略的に発信してまいります。
- これら施策を有機的に連携させながら、「福島観光を必ずや復活させる。」という思いを込め、取り組んでまいりたいと考えております。



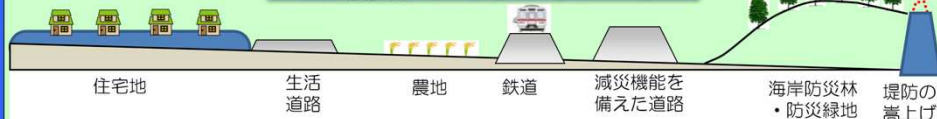
## 平成24年度当初予算

### 津波被災地復興まちづくりプロジェクト

「多重防御」による防災力向上

<減災機能を備えた道路> <防災緑地の整備> <堤防の嵩上げ> 等

#### 復興まちづくりのイメージ



人づくり・地域づくり

<防災訓練の強化>  
<防災リーダーの育成>

地域とともに取り組むまちづくり

<まちなみ再生支援>  
<復興まちづくり会社支援>

ハード・ソフトが一体となった津波に強いまちづくり

15

## 15 まちをつくり、人とつながる。

### (3) 津波被災地復興まちづくりプロジェクト

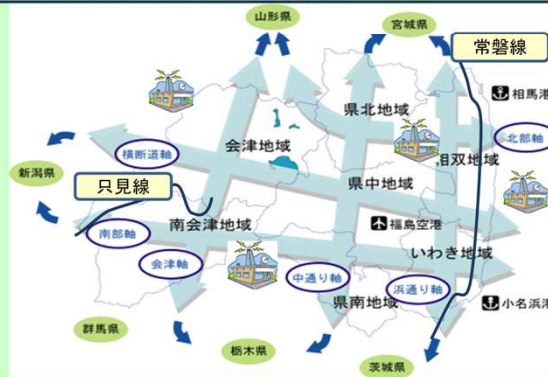
- 次に、「津波被災地復興まちづくりプロジェクト」であります。  
津波に強い地域づくりを推進するため、多重防御対策の一つとして、被害を軽減する機能を持つ防災緑地を整備してまいります。
- また、海岸線の災害復旧や河川の河口部において、津波遡上を考慮した堤防の改修を進めます。
- さらには、減災機能を備えた道路整備など、安全で安心なまちづくりを支えるインフラ整備を行ってまいります。



## 平成24年度当初予算

### 県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

- ・「浜通り軸」の早期復旧・整備
- ・東北中央道 相馬・福島間の推進
- ・本格的な復興に向けたインフラの強化



16

## 16 まちをつくり、人とつながる。

### (4) 県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

- 次に、「県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」についてであります。
- 復興の基盤となり、生活を支える道路、そして、浜通りの復興に直結する「浜通り軸」の復旧・整備を早期に図ってまいります。
- 併せて、常磐自動車道の早期開通とJR常磐線の早期復旧についても、国に強く働きかけてまいります。
- また、東北中央自動車道 相馬・福島間については、出来るだけ早い時期に供用が開始されるよう、国と協力しながら取り組んでまいりたいと考えております。
- さらには、道路の防災、震災対策、河川堤防の嵩上げ、土砂災害防止対策、港湾施設の機能強化など、東日本大震災、新潟・福島豪雨及び台風15号からの本格的な復興に向けて、インフラの強化に努めてまいります。
- 併せて、JR只見線の早期復旧についても、国に強く働きかけてまいります。





## 平成24年度当初予算

### 福島県復興計画（第1次）

#### 福島県復興計画 復興の実現に向けて

- 1 民間団体や県民等との連携
- 2 市町村との連携
- 3 国への要請
- 4 復興に係る各種制度の活用
- 5 実効性の確保

### 復興元年

平成24年度当初予算 1兆5,764億円

17

## 17 まとめ

- 以上が、24年度当初予算の概要であります。
- 復興に向けて、解決しなければならない課題は山積していますが、県民の皆さんと力を合わせて美しく、豊かな県土を取り戻し、子どもたちの笑顔あふれる「新生ふくしま」を築き上げてまいる覚悟であります。
- 平成24年度当初予算を、復興計画の実現に向けた「復興元年」の予算と位置付け、全力で取り組んでいきたいと思っております。